



令和3年度

ニセコ町事例見学ツアーの開催報告

北の住まいるタウンの取組の事例視察として、ニセコ町で「事例見学ツアー」を開催しました。

環境モデル都市・SDGs 未来都市として、行政・町民・企業など町全体で低炭素なまちづくりに取り組むニセコ町。平成13年、全国で初めて地方自治体の憲法ともいえる「ニセコ町まちづくり条例」を施行、平成16年には「ニセコ町景観条例」を施行するなど、常に先駆的なまちづくりを行っています。

令和3年5月に供用開始したニセコ町役場新庁舎やニセコ中央倉庫群など各施設をニセコ町の皆さまにご案内いただきました。

日時

令和3年10月11日(月)
10:30~16:30

参加者

28名

ガイダンス



温室効果ガス排出量削減、観光・景観の取組、ラジオニセコの取組など、町民と協働で進めるまちづくりについて、ニセコ町の山本副町長にご説明いただきました。

ニセコ町役場 新庁舎



高性能断熱材等の導入で超省エネ性能

自家発電機やコージェネの導入で防災の拠点

綺羅街道



電線地中化や建築物の共通ルールによる自然と調和した街並みの形成

JAようてい 雪氷熱倉庫



地域特有の豪雪をエネルギー源にして品質維持

ニセコビュープラザ



ニセコ観光のための情報発信基地・地場産業の活性化の拠点

ニセコ 中央倉庫群 旧でんぶん工場



カフェ、テレワーク施設、創作活動室などを有する交流空間

意見交換



意見交換では、ニセコ町から学んだことや、ニセコ町の取組へのミニ提案を話し合いました。「地域経済を回す仕組みがよく考えられている」「脱炭素プラス観光の視点を持つてはどうか」「夏も集客可能なブランド力の強化を」など様々な意見が出されました。

参加者の声

明らかな成功例であり、さらに継続していただきたい

初めてこのようなツアーに参加したが、自分の町との違いも含め興味深い内容だった

町民参加型で色々な計画づくりを進めているのが参考になった

※参加者アンケートより

PICK UP!

ニセコ町役場 新庁舎



高性能断熱材の導入や、シロカバ材とアルゴンガス入りトリプルガラス高性能窓の導入により、全国の庁舎でもトップレベルの省エネ性能です。待合スペースや展示コーナーには、町内の木工作家さんによる椅子やテーブルが配置されています。

1階の執務空間は大きな階高で、外周には眺望や採光を確保する大きな間口部が設けられています。防災の拠点として、災害用資材の物品庫や自家発電機のほか、熱と電気をつくるLPGコージェネレーションシステムを導入。災害時にはコージェネからの排熱を回収し建物内部に供給します。



羊蹄山とニセコ連峰を見渡せるフリースペースなど、庁舎内外に町民の居場所を設け、開放的な空間となっています。整備にあたっては、まちづくり町民講座やワークショップで町民との議論を重ねてきました。

ニセコ中央倉庫群 旧でんぶん工場



農産物の集積場として賑わっていた倉庫群を、ニセコのインキュベーション拠点として再生しました。6棟の倉庫及び広場からなり、うち2棟は指定管理者制度により地域の交流施設として運営。旧でんぶん工場には、屋内交流空間やテレワーク施設、アンテナショップ、子どもの遊びスペース、創作活動室などがあります。

JAようてい 雪氷熱倉庫



地域特有の豪雪をエネルギー源にした米の倉庫。雪氷熱を利用することで品質維持に適した温度や湿度を保ち、敷地の雪を利用するため輸送コストもかかりません。在庫管理システムと、ボタン一つで動かせる移動ラックシステムを取り入れ、効率的な保管・供給体制を整えています。



※写真は1号倉庫
イベントなどで使用される

「北の住まいるタウン」の取組の内容についてまとめたガイドブックをWEBでご紹介しています



発行：北海道（建設部 建設政策局 建設政策課）電話 011-204-5284（担当：高山）

編集：「北の住まいるタウンに係る普及啓発業務」受託事業者：株式会社石塚計画デザイン事務所

http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kn/kks/kitasuma_top.htm

2021年11月発行



facebookページもご覧ください
「北の住まいるタウン」